



令和元年5月11日(土)

於：早稲田大学

19号館 711教室

声明文

# 第8回NPO法人「全世代」フォーラム

NPO法人「全世代」

令和元年5月11日(土) 早稲田大学19号館711教室にて

**POWER to the people** ～パラダイムシフトに適応した地方ガバナンスを考える～  
を主要テーマとし第8回NPO「全世代」フォーラムが開催された。

【1】上記主要テーマに関するパネルディスカッションには、

河内山哲朗氏（一般社団法人公共経営研究センター理事長、元山口県柳井市長）

のコーディネーターのもと、

- 宇井陸人氏（全世代理事、順天堂大学緩和医療学研究室）
- 小柴巖和氏（三菱UFJリサーチ&コンサルティング ソーシャルインパクト・パートナーシップ事業部部長）
- 隅屋輝佳氏（一般社団法人Pnika代表理事）
- 奈須野文槻氏（東京大学4年、KOMAD Founder）
- 仁木崇嗣氏（全世代理事、ユースデモクラシー推進機構代表理事）
- 星野貴行氏（国立研究開発法人産業技術総合研究所人工知能研究センター）

の6名が参加した。

【2】フォーラムの冒頭には全世代の新たな事業として始まった活動「医師のセカンドキャリアと地域医療のネットワーク」について内田健夫氏(全世代理事)よりプレゼンテーションがあった。

【3】フォーラム開催前に行われたNPO全世代第12回理事会では、NPO「全世代」会員間のコミュニケーション戦略(案)について審議され了承された。また、総会では平成30年度の事業報告及び決算報告、さらに令和元年事業計画及び予算計画が審議され了承された。

【4】理事会及び総会では以下の6点が報告された。(敬称略)

- ① 認定NPOの資格獲得の取り組み(長沢恵子・森裕子)
- ② ホームページ刷新(高津晶・北野芳英)
- ③ 医師セカンドキャリア(内田健夫)
- ④ 地域活性の地域ガバナンス(仁木崇嗣)
- ⑤ 「アゴラ」「不定芽」の統合(高津晶)
- ⑥ 待機児童問題(石濱人樹)

【5】NPO「全世代」関係者は本フォーラムの参加者などの協力を得て以下①、②、③、④、⑤、⑥について実行することを同意した。

- ① 来年度の正式認定に向け、継続努力をすること
- ② 刷新されたホームページに適宜新たな情報を追加し、いまままで以上にNPO「全世代」に関する情報を発信すること
- ③ 地方ガバナンスについては、本日のパネルディスカッションの議論を踏まえ継続・努力すること
- ④ 「医師セカンドキャリア」については、関係機関と協力しその実現に向け努力すること
- ⑤ 「不定芽トークイベント」と「アゴラ」が統一された「VISIONSの会」を開催し、NPO「全世代」内外の関係者との交流・連携を深めること
- ⑥ 待機児童問題については、これからも努力を継続すること

【6】 以上【5】の①、②、③、④、⑤、⑥の項目については、令和元年11月9日（土）に開催予定の第13回NPO「全世代」理事会及び第9回フォーラムにて進捗状況を報告すること。

以上